



▲「美しい模様を描く熊野古道の千枚田(紀和町)」 熊江支部 東昇

CONTENTS

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 2 | 地本・支部だより
<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋地方本部
元気で旅して・友達と語る
中津川機関区サミット開催 ●静岡地方本部
希望者で姫街道のウォーキング開催
「御殿場線の力持ちSL D52」が駅前の顔に
天浜線カラオケ列車の旅
新春さわやかウォーキングに参加して ●東海東京地方本部
鎌倉「散策」を満喫 ●東海大阪地方本部
第三回「山歩き」の会開催 | 11 | 読者のひろば
熊野古道に魅せられて 東昇
パソコンを学ぶ 服部 栄一郎
日本百名山の完登を果たして 蛭川 正治
新幹線からリニアへ国鉄から民鉄へ
経営基盤の在り方に思う 戸田 達雄 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ●東海東京地方本部
鎌倉「散策」を満喫 ●東海大阪地方本部
第三回「山歩き」の会開催 | 13 | 投稿ページ
記事募集 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ●東海東京地方本部
鎌倉「散策」を満喫 ●東海大阪地方本部
第三回「山歩き」の会開催 | 14 | インストラクター
私の「手品とおしゃべり」で楽しんで下さい
伊藤 弘道(津支部) |
| 6 | JR東海トピックス | 15 | 文芸
編集後記 |
| 10 | お元気ですか? 名古屋セントラル病院
心房細動 | | |

名古屋地方本部

元気で旅して・友達と語る

名古屋地方本部 事務局

昨年11月4日と5日の両日、地本主催の旅行会を開催しました。今回は「餘部鉄橋と湯村温泉」の旅で、各支部から152名が参加されました。

両日とも好天に恵まれ、JR東海バス5台に分乗した参加者は、車内で早速カラオケやクイズなどに興じるなど、愉快で和やかに過ごしているうちに、バスは午後4時30分ごろ湯村温泉に着きました。

ゆっくり温泉に浸かった後、152名全員が宴会場へ一堂に集まり平井本部長の挨拶のあと、恵那支部の近藤支部長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。宴会では、各バスから代表者を2名選び、それぞれが自慢の歌を情緒豊かに唄いあげていました。その間、参加者は支部の仲間間または旧知の友を見つけては座り込み、元気で賑やかに歓談して過ごしました。



▲バスを降りて談笑しながら歩く参加者

翌日は、旅の目的である餘部鉄橋へ行きました。鉄橋を下から見上げると、はるか空に浮かんで見えるほどで参加者は圧倒されていました。その後、円山応挙の模絵で有名な大乗寺、そして但馬の小京都・出石町で町並みを散策し、名物の出石そばに舌つづみをうち帰路につきました。

OB会の旅行会を、みんなと元気で旅して、語り合えることが出来る喜びに幸せを感じていました。

中津川機関区サミット開催

中津川支部 渡辺 典雄

昨年5月、当支部で中津川機関区OB主体のD51会(蒸気機関車保存会)は、中津川本町公園に保存されているD51-266号の前で中津川機関区サミットを開催しました。

中央線は名古屋～中津間が明治35年12月21日開通。それと同じ動力車の拠点として中津機関庫の前で開設されました。当時は中央線の機関車の拠点として、2120形式、C11形式、C12形式、D50形式、D51形式等の多くの種類

が在籍して、中央線の物流を支えこの地方の発展に大いに貢献してきました。

このサミット開催は、昨年中津機関庫開設107年、中央線全線開通(明治44年)から99年を迎えたのを機に、D51会は、中津機関庫等で在籍していた蒸気機関車が、各地で24両も静態保存されている事を踏まえ、これら機関車の保存にはそれぞれの苦労話もあり、お互いの交流を図ることによって、



▲機関庫サミットに参加したメンバー

保存作業の隘路をなくしていこうという機運が盛り上がり、今回のサミット開催に繋がりました。

参加者は、遠く船橋市、金沢市から、また隣県の長野県、愛知県など各地から19名が集まり、地元D51-266号の関係者や来賓とともに、現状報告を行うと共に周辺の支援環境などについて熱い討論が3時間に亘り行われ有意義な会となりました。

中津機関庫はその後中津川機関区、JRになり中津川運輸区として様変わりしましたが、今も運転士、車掌の乗務員が勤務し鉄道輸送の重要な任務を果たしています。

静岡地方本部

希望者で姫街道のウォーキング開催

浜松東支部 坂口 皓

皆さまは姫街道ってご存知ですか？ 起点は磐田市見付けで終りは愛知県御油とのことです。名前の由来は、昔新居の関所の入鉄砲、出女の取り締まりで湖の渡船を避けて、湖の北を通る道があり、主として女性たちが通るので「姫街道」の名が付いたとのことです。

当支部の第一回目の行事として、その姫街道の一部区間（本坂峠に次いで第二の難所）を歩くことを計画しました。その計画に挑戦しようと、昨年未希望者8人によるウォーキングを実施しました。

当日天竜浜名湖鉄道西気賀駅に集合、9時30分行程8kmの難コースに出発しました。途中旅の無事を祈願したという「葉師寺」、姫様も休まれたという「姫岩」、難所道「石畳」、昼



▲元気に姫街道を歩く参加者

でも暗くコースの中心である「引佐峠」、舟で渡る事が出来ず山に回った象が、あまりにも急坂のため鳴いたという「象鳴き坂」、「石投げ岩」、格天上絵の美しい「慈眼寺庚心堂」、「三ヶ日一里塚」を経て、三ヶ日までの所要時間5時間、一人の落伍者もなく全員完歩し爽やかな一日とともに、昔を偲ぶ事が出来ました。次回はゴルフ大会を予定しています。

「御殿場線の力持ちSL D52」が駅前の顔に

御殿場支部 小松 眞清

昭和53年に国鉄から御殿場市に貸与されたSL-D52は、当時駅前に適当な土地がなかったため、駅から約2キロ離れた湯沢公園に保存・展示され、以後OB会当支部保存会が点検・清掃をしてきました。

平成20年6月、当支部をはじめ関係団体は、SLをより多くの人に見てもらうため、JR御殿場駅前に移設するよう市及び市議会へ要望していましたが、このほど駅前駐車場の整備に合わせて移設されることになりました。

市から、平成22年9月28日に機関車の一部を解体するところを公開するので、鉄道OB会から機関士の制服、制帽、SLの写真を借りて展示したいとの要請があり、当日5名の会員が制服、制帽、写真の展示を行い、また報道陣への対応にも貢献しました。

前の一部を解体されたSL-D52が、駅前に輸送され元に戻し、11月28日の記念式典にお披露目となりました。式典には大勢の市民や鉄道ファンが集まり、市内の園児たちによる童謡「汽車ポッポ」の合唱、市長、鉄道OB会支部長、駅長他6名



▲移転した機関車に人だかり

がテープカットを行いSL広場の完成を祝うと、SLの汽笛が高らかに鳴り響き集まった人々を驚かせました。

当日は、支部会員15名が参加しSL広場の整備、ミニSL乗車等の整理、またD52の説明を行い汗を流して会場を盛り上げました。

今後も、OB会員でSLの点検・清掃活動が続け、御殿場駅周辺の活性化を図り、SLが御殿場駅前の顔になることを願っています。

天浜線 カラオケ列車の旅

遠州北支部 中村 哲也

昨年の秋、紅葉の真っ盛りの中、昔私たちの職場でもあった天電浜名湖鉄道の車両一両を借り切って、天浜線天電二俣駅(旧遠江二俣駅)～新所原の一日復カラオケ列車の旅を開催しました。当支部は、旧二俣線関係、旧国鉄バス出身の方が多く今回のイベントに多数の方が参加されました。

当日は、カラオケ列車発車1時間程前に天電二俣駅に集合しガイドさんの案内で、旧二俣機関区内にある国指定登録有形文化財の転車台、扇形車庫をはじめ当時のまま残っている乗務員休憩室、洗濯場、風呂場等を見て回り、現役当時の思い出に浸りが弾んでいました。

いよいよ本番のカラオケ列車へ乗車。幹事さんのお世話でお弁当、飲み物が積み込まれて11時天電二俣駅を定時発車しました。車窓からは都田川の清流、山々の紅葉を眺め、また車内では宮口駅から1000分の25の上り急勾配をSLで上った時の苦労話に花が咲き、飲み物も進み車内は、次第に



▲カラオケ列車に乗車した参加者たち

盛り上がりカラオケが始まりました。

カラオケで歌い聴き、沿線の景色に堪能しているうちに新所原に到着。トイレ休憩のあとすぐ天電二俣へと折り返しとなり、復路はカラオケが中心で車内のみなさんの手拍子とともに順次歌い続けて終始明るく和やかな雰囲気を楽しみました。

今回の参加者は40名程でしたが、半数は女性で元国鉄バスに乗務していた方も多く、この方たちのお陰で華やかさも増して大変楽しい旅となりました。

新春さわやかウォーキングに参加して

島田支部 山本 雅之

1月9日の日曜日、会員と家族の健康を祈願するため、当支部の恒例となったJR東海主催の「新春開運七福神祈願と七草粥ウォーキング」に、会員・家族・親戚など総勢32名が参加しました。

この日は、今年の世相を表すかのように冷たい風の強い日でしたが、8時30分島田駅構上自由通路で受付を済ませ「鉄道OB会」のリボンを付けて足取りも軽やかにこやかに出発しました。

途中、木造歩道橋として世界一の長さ(897.4m)を誇り、ギネスブックにも認定されている蓬萊橋のふもとで、宝船に乗った蓬萊七福神(仮装)による餅投げの洗礼を受け、大井川を渡り参道の七福神に手を合わせ、牧之原台地の茶園を見守るように建てられた開拓の祖、中條金之助銅像広場で甘酒を飲み、身体を温め、新春のすがすがしい富士山を眺めながら、法林寺に歩を進め全員無事目的地に到着しました。

法林寺の境内は、県内外から集まった約2,000人で賑わう中、観光協会や地元ボランティアの人たちが準備した温かい



▲寒い中でも楽しい時間

「七草粥」に舌鼓をうつと心もホッとし、今年は何か良いことがあるような予感がありました。

全員が揃ったところで、富士山の見える茶畑の一隅で新春祝い酒の場を設け、和気あいあいと新春の抱負等を語り合ったり、記念写真を撮る等しました。またたく間に時間も過ぎて最後に「一年の健康と幸せ」を祈念し万歳三唱で締めくくり、また来年もと約束しそれぞれ家路に向かいました。

東海東京地方本部

鎌倉「散策」を満喫

東海東京地方本部 事務局

12月4日、当地方本部の会員・家族（男性27名、女性8名、お孫さん1名）が北鎌倉駅へ9時30分集合、当日は、温かく空はどきまでも青一色、鎌倉散策には一年でこの日しかないというような天候に恵まれました。

時間前に全員が集合し、今日はガイドさんの案内で北鎌倉駅から鶴岡八幡宮をめぐるコース。途中円覚寺、東慶寺、浄智寺、建長寺、浄光寺などに立ち寄りました。

ゆったり流れる時間の中、深い歴史に触れ歩き通る青空の下で、真っ赤な紅葉を眺めながら全員が散策を満喫しました。



▲鶴岡八幡宮の折れた大銀杏の前で勢揃い

素晴らしい景観の中、まるで小学校の見学旅行にタイムスリップしたようだといふまで話して帰途につきました。

東海大阪地方本部

第三回 山歩きの会開催

車両支部 藤田 義晴

10月24日の天気予想は曇りのち雨、山歩き参加のメンバーは「でも、雨が降れば傘をさせば問題ない」と京阪宇治駅に向かいました。午前10時の集合時刻には9名全員が勢揃い、久しぶりに顔を合わす仲間との会話を花を咲かせ、どの顔もほころび、雨の心配は微塵も見えませんが。

最初の目的地は宇治上神社で、奉祀の神や現在までの沿革に感心しながら、次の目的地である仏徳山へと向かいました。途中ですれ違うハイカー達とは相互に挨拶をかわし山頂を目指しました。ここまでで日頃の運動不足を感じましたが、それでも明るく道中の会話を楽しみました。山頂の少し手前の展望台からは宇治の市街地を眺め、宇治十帖の源氏物語の世界に思いを馳せながら、額に汗に秋風が遊ぶ束の間を満喫して頂上を目指しました。

その後、宇治川沿いのコースに戻り、一路天ヶ瀬ダムを目指しました。しばらくして前方に目をやると、天ヶ瀬ダムはもうそこです。しばしダムの全貌を見上げていると「ここからがきつぞ」。誰かの声で我に帰る、急勾配の道をダムへと登り



▲定取りも軽やかなOB会員

続けました。目的地が見えることから疲れた足にも力が蘇り、全員が無事に天ヶ瀬ダムの上に立ちました。

「雨が近づいている」、火照ったほほをなでる風も心持ち湿り気を含んできた気がするため、昼食時間を30分で切り上げて、最終目的地の平等院まで一気に歩き、鳳凰堂に到着すると、10円玉を取り出して見比べて「なるほど」と納得して天平の美術を鑑賞していると、こらえていた空が泣き出しました。「備えあれば憂いなし」と傘を片手にJR宇治駅にゴールイン！「手ごろなコースだったね」、このコースを選定した事務局には最高の嬉しい言葉が聞こえる中で解散となりました。

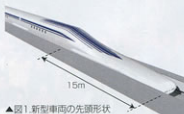
超電導リニア

新型車両の概要を決定

●リニア開発本部

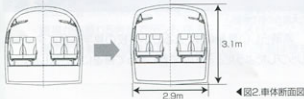
当社は、平成25年度末の完成を目標に、山梨リニア実験線の延伸工事及び先行区間の設備更新工事を進めています。このたび、更新延伸後の新実験線で走行する営業線仕様の新世代となる超電導リニア新型車両の概要を決定しました。

今回製作する新型車両は、今後、客室内装などに若干の変更はありうるものの、営業線での車両形状もこの形状をベースとして進めていきます。



▲図1 新型車両の先頭形状

【現在の試験車両】 【今回の新型車両 L0(エルゼロ)系】



▲図2 車体断面図

車両の概要

先頭車は車内空間の確保と空力特性を考慮して、先頭部の長さを15mとし、曲面構成をより滑らかな形状としました(図1)。車体断面は角型とし、N700系新幹線と同等の客室上部空間と荷棚スペースを確保しました(図2)。カラーリングは東海道新幹線のイメージを踏襲しています。

新型車両の形式

新型車両の形式名称は、L0(エルゼロ)系です。

L(エル)はリニア(Linear)を表し、0(ゼロ)は東海道新幹線と同様に、営業線仕様の第一世代の車両を表しています。今回作成したL0系のロゴマークは、車体の側面に付ける予定です(図3)。

車両は、先頭車2両と中間車10両の合計14両を製作します。このうち、先頭車2両、中間車3両の計5両については、今年度内に製作に着手、平成25年度に完成させ新実験線で走行する予定です。

新実験線では、最長12両編成とするなど、14両を様々な組み合わせで営業線に向けた最終的な走行を行っていきます。



▲図3 L0(エルゼロ)系ロゴマーク

悲願の日本一に挑む

硬式野球クラブ
平成23年試合日程

●硬式野球クラブ事務局

平成23年参加大会予定表

大会名	曜日(予定)	場所
都市対抗野球大会 東海地区予選	予選リーグ戦 6月4日～12日	岡崎市民球場
	予選トーナメント戦 6月15日～25日	岡崎市民球場
JR大会	7月20日～21日	北九州市民球場
高山大会(注)	8月6日～9日	高山中央公園 他
都市対抗野球大会	8月26日～9月6日	東京ドーム
日本選手権野球大会 東海地区予選	9月23日～29日	岡崎市民球場
愛知県野球連盟会長杯大会	10月6日～8日	未定
伊勢大会	10月13日～17日	伊勢市倉田山球場
日本選手権野球大会	一回戦 10月29日～30日	岡崎市民球場 他
	二回戦以降 11月9日～14日	京セラドーム大阪

※大会期日・開催場所については、変更となる場合があります。

※(注) 都市対抗野球大会東海地区予選で代表となった場合、高山大会に出場します。

小栗監督のコメント

日頃より野球クラブに対し多大なご支援・ご声援を賜りましてありがとうございます。今年は、投手を中心とした守りと足を活かした攻撃で、激戦の東海地区予選を勝ち抜き、5年ぶりの都市対抗野球大会出場、そして「日本一」を目指し全力で戦い、皆さまに喜んでいただける結果が出せるよう一杯頑張っていきたいと思います。引き続き、ご支援・ご声援の程よろしくお願いたします。



硬式野球クラブに新人6名が加わりました。

<p>アベ カズヤ 阿部 一也 [投手・15番]</p> <p>①23歳 ②豊橋工業高校 →三重中央大学 ③178cm・78kg 右投・右打</p> 	<p>イナツ コウキ 稲津 祐樹 [外野手・26番]</p> <p>①23歳 ②秀島高校 →日本理科大学 ③183cm・86kg 右投・右打</p> 
<p>カネミヤ コウタ 上村 勇太 [投手・32番]</p> <p>①19歳 ②豊邦高校 ③179cm・71kg 左投・左打</p> 	<p>カトウ トモヒロ 加藤 智弘 [投手・34番]</p> <p>①19歳 ②中京高校 ③185cm・71kg 左投・左打</p> 
<p>フジカワ コウジロ 藤川 寛大 [外野手・24番]</p> <p>①23歳 ②東海大菅生高校 →愛知工科大学 ③180cm・76kg 右投・左打</p> 	<p>シラカワ タカヒト 白川 貴人 [捕手・27番]</p> <p>①23歳 ②九座大九州高校 →九州産業大学 ③173cm・80kg 右投・左打</p> 

①年齢 ②出身高校→出身大学 ③身長・体重・投・打



3/14 OPEN

リニア・鉄道館



「リニア・鉄道館」～夢と想い出のミュージアム～

館名に込められた思い

当社固有の最先端技術である超電導リニアと各時代を駆け抜けてきた車両の展示により、鉄道の発展の歴史を紹介する展示館であることを端的かつシンプルに表現したものです。副題の「夢と想い出のミュージアム」には、鉄道は常に時代を先取りしてきた「夢」であり、人生の節目と重なり合うなど様々な年代の方々「想い出」とも密接に結びつく存在であることから、たくさんのお客さまにそれぞれの感慨に浸っていただきたいという思いを込めています。

コンセプト

東海道新幹線を中心に、在来線から次世代の超電導リニアまでの展示を通して「高速鉄道技術の進歩」を紹介します。鉄道が社会に与えた影響を、経済、文化及び生活などの切り口で学習する場を提供します。模型やシミュレータ等を活用し、子供から大人まで楽しく遊べる空間とします。

ようこそ「リニア・鉄道館」へ

「リニア・鉄道館」館長
金子 利治

皆さま、お待たせしました。「リニア・鉄道館」の開館です。

当館では、東海道新幹線を中心に在来線から超電導リニアまで、数多くの実物車両を展示しています。皆さまにとって懐かしい想い出のある車両や憧れの車両に再会し、見て、ふれて、乗って楽しむことができます。

また、新幹線・在来線のシミュレータや精緻な鉄道ジオラマがあり、他にも鉄道のしくみや歴史など、体験しながら鉄道に対する理解を深めることができます。

お子さまから大人まで、一緒になって楽しい時間を過ごしていただけたらと思いますので、ご家族や友人お揃いでぜひご来館ください。

ご利用案内

開館時間	10:00～17:30(最終入館は閉館30分前まで)
休館日	毎週火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日～1月1日)
入館料	大人1,000円、小中高生500円、 幼児(3歳以上)200円 ※団体(20名以上)はそれぞれ800円、400円、100円
シミュレータ 利用料	新幹線シミュレータ「N700」500円 在来線シミュレータ「運転」100円 在来線シミュレータ「車掌」500円
音声ガイド 利用料	500円(タッチパネル式で8ヶ国語に対応)
アクセス	JR名古屋駅よりあおなみ線「金城ふ頭駅」下車 徒歩約2分
電子マネー	入館料、シミュレータ利用料、音声ガイド利用料のお支払いやミュージアムショップ、アピカステーションのお買い物には、TOICAがご利用いただけます。Suica、ICOCA、SUGOCAもご利用いただけます。





相澤 祐介さん

**私たちが
ご案内いたします**

「リニア・鉄道館」は、館長以下13名の社員と運営スタッフなど、合わせて約60名で組織・運営しています。



キッズコーナー

お子さまと保護者のためのプレイルームです。プラーレルを使って遊ぶことができます。



田中 亮さん



太陽光発電システム

当館では広大な屋根を利用して、太陽光発電システムを導入しています。館内に設置されたモニターでは、太陽からのエネルギー量やCO₂削減量を表示することで、環境に配慮した取組みについて紹介しています。

音声ガイド

当館の概要や各展示のトピックス、各車両のみどころを音声と画像で解説します。(有料:500円)(日本語・英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・ポルトガル語に対応)



「リニア・鉄道館」スタッフが紹介する

みどころガイド



鉄道のしくみコーナー

鉄道技術の進化の歴史や安全・高速・快適を支えるしくみを実物や模型で紹介。台車やパンタグラフなどを実際に動かすことが可能です。鉄道の原理を体験することで、楽しみながら学ぶことができます。



桜本 幸輝さん

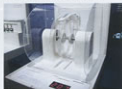
「鉄道の24時間」をジオラマの世界で

東海道新幹線沿線などの代表的な建物や景色、身近で日常的な人々の様子を精緻に再現。夜間作業も含めた「鉄道の24時間」をジオラマの世界で見ることが出来ます。ガラス越しではなく、間近で見ることが出来るのも特徴です。



超電導リニア展示室

超電導リニアがなぜ進むのか、なぜ安全なのかといった疑問に対し、体験装置や走行模型によって答えます。モニターではCG映像を使った時速500kmの世界を模擬体験できます。



シミュレータ

N700系シミュレータは実物大の運転台(モックアップ)と大型スクリーンによるCG映像で、臨場感と迫力ある運転操作を体験できます。在来線は、運転シミュレータ8台の他、313系乗務員室(モックアップ)に車掌シミュレータ1台を設置。実践的な運転業務やドア開閉・車内放送・乗降客の安全確認などの車掌業務を体験できます。



▲在来線シミュレータ「運転」[車掌]



▲新幹線シミュレータ[N700]

体験学習室

摩擦力や遠心力の働き、車両のドアが開閉するしくみなど、鉄道の世界で応用されている物理の法則を、模型を使って学習できます。



映像シアター

様々な映像を通して、高速鉄道の歴史や技術を学ぶことができます。また、講義や講演も行われます(55席)。

収蔵展示室

当社がこれまでに収蔵してきた貴重な資料を多数展示。懐かしいものを目の当たりにすることで、当時の鉄道の姿に思いを馳せることができます。



歴史展示室

日本の東西を結ぶ大動脈・東海道を主体に、鉄道交通の発達など、我が国の鉄道の歴史を紹介。鉄道前史から現在までの鉄道通史や東海道新幹線の誕生物語など、鉄道が社会にどのような影響を与えてきたか、模型や実物資料を交えながらわかりやすく解説しています。



車両展示

高速鉄道の歴史を一堂に

車両展示は39両。歴代の新幹線・在来線の実物車両で、高速鉄道技術の進歩を紹介しています。吹き抜けの明るい空間、時代順に配置するなど工夫を凝らしました。様々な角度から実物車両の持つ魅力を感じてください。



天野 満宏さん

モハ52形式 電車

1936(昭和11)年に登場し、流線形のデザインから「流電」と呼ばれました。後に飯田線で活躍しました。



0系21形式 新幹線電車

1964(昭和39)年10月に開発した東海道新幹線と同型の先頭車です。世界で初めて最高速度210km/hで運転しました。



300系323形式 新幹線電車

1992(平成4)年に登場した「のぞみ」用に製作された300系の量産車の先頭車です。最高速度270km/hを記録しました。



100系123形式 新幹線電車

0系の後継車として1985(昭和60)年にフルモデルチェンジした100系の先頭車です。



シンボル展示

世界最高速度を記録した高速鉄道のシンボル(3両)

C62形式 蒸気機関車

1954(昭和29)年、狭軌鉄道の蒸気機関車としての世界最高速度(129km/h)を記録。



955形式 新幹線試験電車 (通称:300X)

1996(平成8)年、電車方式による当時の世界最高速度(443km/h)を記録。



超電導リニア MLX01-1

2003(平成15)年、山梨リニア実験線において鉄道の世界最高速度(581km/h)を記録。





心房細動

名古屋セントラル病院
循環器内科 医師 松尾一宏

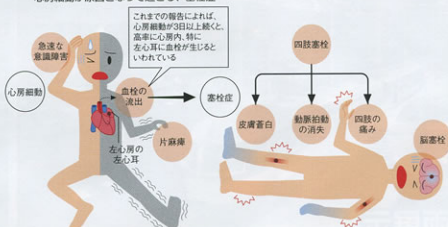


「心房細動」とは不整脈の一種で、文字通り心房が細かく速く震えるように動いて、通常時のような調和のある「心房全体としての収縮」が行えなくなる状態のことです。その振動数は1分間に300～600回と、正常な心房の動きに比べて5倍以上も速くなることが知られています。心房細動が起こると、無症状のこともあります。多くの患者が急な動悸や胸苦しさ、胸の痛みといった症状を訴えます。

データからみた心房細動

心房細動は、①7日以内に心房細動状態が自然停止する「発作性心房細動」、②7日以内に自然停止しないため薬物投与などの治療が必要な「持続性心房細動」、③治療を行っても回復不能な「永続性心房細動」の3種に分類できます。このうち、持続性心房細動と永続性心房細動をあわせて「慢性心房細動」と呼ぶことがあります。多くの場合、発作性心房細動の再発を繰り返しているうちに持続性心房細動となり、やがて永続性心房細動へ移行します。

心房細動が原因となって起こる、塞栓症



40歳以上の約63万人の心電図を解析した「日本循環器学会心房細動疫学調査(2006年報告)」によれば、心房細動の有病率は対象者全体の0.9%でした。男女別に見ると、女性の0.4%に比べて男性は1.4%と、3倍以上も発症率が高いことがわかっています。また、同データで年代別の有病率を見ると、40歳代・50歳代の有病率が0.1%、0.5%と低値であったのに対し、60歳代・70歳代では1.0%、2.1%と倍増しており、さらに80歳代以降になると3.2%（男性のみならば4%強）と、著明な増加が認められました。

気を付けなければならないのは、こうしたデータはあくまで健診時に確認できた心房細動のみを反映しているということです。発作性心房細動を有する患者が見逃されている可能性があるため、実際の有病率はもっと高いといえます。

発症の危険因子

茨城県住民の健診データ約187万件(2000年度～2007年度)を解析した結果、心房細動発症の危険因子として、①心疾患の既往歴、②脳卒中の既往歴、③高血圧、④肥満、⑤糖尿病、⑥腎機能低下、⑦毎日の飲酒があげられています。

一方で心房が細かく震え続けると、心房内で血液が攪拌されずに凝固しやすくなって、血栓(血管の中のできる血の塊)が形成されやすくなります。心房内で作られた血栓がはがれて血液にのって流れ、腕や足の血管に詰まると四肢塞栓症を、脳の血管に詰まると脳血栓症(心源性脳塞栓症)といった合併症を招きます。心源性脳塞栓症は急性期脳梗塞の原因の2～3割を占めるうえ、脳の広範な領域を虚血状態に陥らせるため、予後が不良となることが多いことがわかっています。

心房細動を放置していると合併症を招くことがあります。症状がある方や、健診などで心房細動などの不整脈を指摘されている方は、早めに循環器内科までご相談ください。

熊野古道に魅せられて



盤江支部
東 昇

昨年の10月、秋のシーズンに初めて熊野古道を訪れた。今回の目標は、那智山への表参道大門坂-那智の滝(第一日目)と紀和町の通り峠-丸山千枚田(第二日目)である。朝から快晴に恵まれ自宅を7時30分スタート。弥富の弟を迎え約250キロ離れた紀伊勝浦を目指す。道中、幼年時代から青年時代、会社勤めのころ、退職後等の会話が弾み、兄弟間の絆をしっかりと噛みしめる。

途中、尾鷲の「熊野古道センター」に立ち寄り、熊野古道について案内から説明を受ける。隣接した「夢古道の湯」では地元の主婦のみなさんの手作りランチバイキングでもてなしを受け旅のひとときを味わいっぱいエンジョイする。時間に余裕があったため行程を一部変更し、七里御浜～那智勝浦新宮道路を經由して大門坂駐車場へ13時50分到着した。

古道歩きの出発点は、那智山への表参道である「大門坂」を登ることから始まる。樹齢800年の一對の老杉「夫婦杉」を過ぎるころから267段の石段がはじま

り、最後の一步を登るとかつて一對の仁王像が立っていた大門跡へ出る。苦しい思いをしながら、さらに石段を登り熊野那智大社、那智山青岸渡寺にお参り。あと那智の滝へ。高さ133メートル日本一、自然崇拜が那智信仰の発祥である。

那智の滝を後に一路宿泊地「休暇村・南紀勝浦」のある宇久井半島先端を目指し、16時20分無事到着。夕日に沈む熊野灘の「水平線」に感激、その雄大さにすっぱり包まれる幸せを知る。

二日目は、日の出直後の大海原に神秘性を感じ、一日のスタートの原動力をもらう。宿を9時半過ぎに出発し、通り峠～千枚田を訪ね、その景色に暫く見とれた。千枚田の曲がり道を降りて国道311号線に復帰し国道42号線との結節点まで急ぎ、42号線を北上、尾鷲港近くの魚市場に立ち寄りショッピングし、また紀伊長島の「道の駅・紀伊長島マンボウ」で昼食を摂り、真っすぐ帰路につき弥富の弟宅に寄って17時に自宅に着いた。

二日間で、590キロを無事走破し、まだまだいける体力を確かめ、明日からの大切な心の支えにしたい。

パソコンを学ぶ



浜松支部
服部 榮一郎

1.はじめに

私は第二の職場を退職した69歳の時「パソコン」を本格的に始め、84歳になるまで元気に継続してきましたのでその体験をしたためました。

パソコンを学ぶには「パソコン」が必要で、私の「パソコン」はインターネットで「EPSON ダイレクト」を購入しました。その時は「Windows」だけで、必要なソフトは後から購入し、後でインストールしています。パソコンは現在「ノート型」が主流ですが、私は目が悪いので「デスクトップ型」を購入しました。

2.インターネットの利用

パソコンは、単独でも便利な道具ですが「インターネット」に接続すると情報機器となります。

「インターネット」に接続するためには「プロバイダー」と契約する必要があります。私は「@nifty」というプロバイダーと契約しています。料金は月額6,000円程度です。また、私は無料のサーバーとも契約していますが、最初は有料のサーバーと契約するのがいい

と思います。それはいろいろな「サポート」が受けられるからです。

「プロバイダー」と契約すると「ホームページアドレス」が与えられます。これは世界で一つしかないもので世界に情報を発信することが出来ます。この情報を発信するために「ホームページ」を作る必要があります。

ホームページはHTML言語で書かれた「プログラム」で、3カ月かけて作成しました。私のホームページアドレスは<http://homepage3.nifty.com/hattutori/>です。またインターネットを使えば簡単に世界中の情報を集める事が出来ます。

次に「プロバイダー」と契約すると「メールアドレス」が与えられます。これは「インターネット」の住所です。メールを書いて送信すれば無料で瞬時に送信出来ます。プロバイダーの受信箱にアクセスすれば私に届いたメールを読むことが出来ます。「パソコンは習うより慣れろ」です。

3.おわり

以上で体験記を終わりますが、今後ともボケ防止と、健康のためパソコンを学び続けたいと考えています。

日本百名山の完登を果たして



半田支部
蜷川 正治

私は平成22年8月16日、南アルプスの光岳(2,591m)に登り日本百名山の完登を果たしました。百名山をを目指すようになったのは7、8年前で、その時すでに75の山を登っており、それから毎年2、3の山を登り決して昨年ついに念願を果たし、感激に浸っています。

私の登山の第一歩は、昭和25年夏、職場の同僚5人と富士山に登ったことです。それ以来、60年間飽きもせず登り続けて来ました。若いころは地元の半田山岳会と職場の名鉄局山岳会の両方に入り夏、冬の合宿はもちろん、四季を通じて日本中の山々を歩き、独りでもよく出かけました。

特に記憶に残っているのは、昭和40年ごろ、冬の富士山に登った時のことです。半田山岳会会員3人と御殿場から登り5合目でテント泊、翌日アイスパーンと突風の中を無事登頂を果たし、下山した時の感激は今も

忘れません。

また、平成10年の秋、北海道の利尻山と大雪山に登った時の事もよく覚えています。利尻山(1,721m)は、標高差1,700mを9時間で往復し大変でした。しかし、中腹の紅葉と山頂の雪のコントラストは見事でした。大雪山(旭岳)は層雲峡まで縦走する予定でしたが、深い雪と霧で山頂から引き返しました。

平成17年に登ったトムラウシ(2,141m)は、13時間も掛かりへとへとでした。平成17年、屋久島の宮之浦岳(1,935m)へ行った時は、多雨で有名な山ですが幸いにも降られずに大幸運でした。

100番目の光岳は、男老渡から登りましたが標高差1,500mもあり息も絶え絶えでした。山頂近くでは熊にも出会いました。

日本百名山の完登を果たしましたが、登りたい山は無数にあります。今83歳ですが体力のある限り登山を続けたいと思っています。

新幹線からリニアへ国鉄から民鉄へ 経営基盤の在り方に思う



藤枝支部
戸田 速雄

リニア新幹線の実現へ大きく前進してきました。次世代の地上の乗り物として、日本の将来を担うに相応しいもので、世界に誇れる鉄道の誕生に心が躍り悦ばしい限りです。

JR東海の経営基盤の中心は、東海道新幹線が担っています。その東海道新幹線は、国の政策として戦時の輸送力増強のために、広軌鉄道としての「弾丸列車計画」が始まりと言われています。その後時代の要求に応じて、新幹線建設が進められ、その間の苦労と努力が幾多の困難を乗り越え、昭和30年代に世紀の祭典と謳われた、東京オリンピックの開催と並行して建設が進められ東京・大阪間を結ぶ「夢の超特急」として開通し、活躍の第一歩を踏み出し今に至っています。それが今回のリニア新幹線を「夢」とは呼ばれないほど身近な事柄として建設に繋がって行きました。

次を見つめた先人たちは、新幹線完成と前後してリニア新幹線の構想が始まり、数十年経ち試行段階を経て現実となり、当初東京・名古屋間のルート設定計画に

3案あった中から、運行所要時間と建設費の面からJR東海の主張したアルプスを貫通するルート(建設費5兆4,300億円)が採用されるようです。

問題は建設の根底となる財政基盤で、今の新幹線は日本国有鉄道であったが、今回はJR東海が民鉄であり自己資金が必要です。成績云々を考える以前の問題として、株主の存在があるが株主対策は別として、どんな問題があるか収入の確保等問題と対策を次に上げてみました。

1. 運賃策定の基礎である営業キロが短縮されるための対策
2. 利用客は、時間短縮面からビジネス客が多いと思われる。反面観光客は超高速と景色が山間地とトンネルが多いため不向きと思われる
3. 新在両東海道線客の転移が見込まれ、営業収支の影響等もあると思われる

以上を勘案して、株主・株主に影響が出る等未知数の分野がありますが、これを克服をしていくことが大きな問題となってくると思われるので国の助成か、国の持ち株等の対策が欲しいと思います。



わが家の四天王

津島支部 水谷 淳三

わが家の四天王は、息子と娘の2家族の孫4人達です。毎週土曜日に、申し合わせたようにわが家に集結し、ゲームに没頭しています。最年長は小学校5年生で最年少は年長さんでいとこ同士ですが、兄弟みたいに仲がよく、最近ではみんなでWiiにはまり込み、それぞれが静かな闘志をみなぎらせて、画面にとらめっこしています。こうして週末には、元気に孫の様子を眺めながら過ごすひとときに、家族で暮らす温かみを感じています。



夫婦で「花の百名山」挑戦中

清水支部 平岡 晨甫

夫婦で「100名山」を登り終えて10年が経ちました。昨年500枚の写真をCD化しました。

そして「花の百名山」に挑戦しています。ここまで89講座まで来ましたが、花の時期が重なりかなり苦戦しています。あと11講座なので、夫婦とも健康で完登を目指します。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたもので、戸東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルデータでも結構です。お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジタル記録媒体は、後日返却します。	投稿ページ	会員及びご家族により楽しんでからおうと、「投稿ページ」を設けました。家族感、は友達と一緒に、楽しいOB生活を送らている(旅行、遊び等)写真を紹介します。写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知魅力ある支部、活力ある支部づくりを設立していきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一名様別ごとに製菓菓書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の際、宛先に「短歌」「俳句」「川柳」と朱書きして下さい。
読者のひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真があれば添付して下さい。	掲載要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご承知下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-12 キヨコスクビル内 東海鉄道OB会：会報編集係宛

インストラクター

私の「手品とおしゃべり」で楽しんで下さい



津支部
伊藤 弘道

私の芸名は「一十斎熊の助」です。
私は「さくら会」と言う芸能サークルを率いて12年、手品を始めて20年に
なります。

歌と踊りと手品、その他南京玉すだれ、皿回し等の演目を持って月2〜3回老人施設や各地の催しに出演し慰問活動を続けています。また、呼んでいただければOB会支部にも出かけたいと思っています。

私は場所を選びません。みなさんにその場を楽しく笑っていただければ良いと考えて、毎日ネタ話を考えながら暮



▲老人施設で術を楽しませる私

らしています。私も70歳ですが体力の続く限りこの道で頑張る覚悟です。

JR
沿線歩記
東海道本線
Ensen-aruki

東海道本線 由比駅

- 開業/大正5年4月15日
- 所在地/静岡市清水区由比今宿



かつて「湯屋」「由井」なども記された鎌倉時代から続く古い宿場町・由比。東海道の16番目の宿場町として栄えた由比は、同街道でも際立って小さな宿場だった。地名は、労働力を提供し、助け合うという意味の「結」に由来し、江戸時代には付近11か村の協力で宿場が維持されたという。東海道の賑わいととも発展した町は、空襲に遭わなかったこともあり、東海道の宿場町の中でも江戸の面影を今に伝える建物を比較的多く残す。侵入した敵軍の動きを妨げるために、道路を意図的に折り曲げた「枳形」が残っているのも珍しい。

由比本陣跡には本陣公園と歴史資料館が整備され、その向かいには「正雪紺屋」。江戸三代將軍家光死去の際、幕府転覆を図った由比正雪の生家で、江戸時代より十八代続く今も現役の染め物屋だ。季節を題材にした手拭やハンカチ、手作りのバッグなどを取り扱う。

駅のすぐ南側にある由比漁港は、駿河湾特産の桜えび

やしらすの水揚げが有名。春と秋に限定される桜えびの漁期には、富士山を背に出漁する勇壮な漁船の姿が見られる。

そして、由比の名勝といえば薩埵峠。長く峠越えの道は整備されず、旅人は崖下海岸沿いのわずかな隙間を、打ち寄せる波をかわしながら瞬時に走り抜けていた。親と子が互いを顧みる余裕もなかったため、「親不知、子不知」と呼ばれる難所だったが、明暦元年(1655)、朝鮮通信使を江戸に迎えるにあたり、峠に道が開かれ、これが薩埵峠越えの東海道となった。峠から白波砕ける海岸線の向こうに望む雄大な富士山は、旅人の心を魅了した。

現在、眼下には東海道本線、国道バイパス、東名高速道路という交通・物流の大動脈が通っているものの、広重の描いた浮世絵とほぼ同じ風景を見ることができるのは、東海道五十三次の中でもここだけと言われている。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」11月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

背を丸め 曾孫の晴着 縫う妻の
背なに浮びし 無と言う文字が
年老いて 視力精力 衰えし
喜怒哀楽の 情も薄れて

名古屋運輸車両支部 服部幸夫

世の波乱 想えば去年の 一年を
無事に過ごして 屠蘇を祝へり
金種の とぼしき頃も 大鍋に
大根たきて 雑煮いたたく

津支部 岡 俊雄

姿見ぬ 芋の葉かげの 妻を呼ぶ
こだまのごとく 声返り来る
文化財の 茅葺民家に をみながら
吊し飾りする 柱の黒し

上伊那支部 竹内滋一

音もなく 降る春雨に 良人忍ぶ
二人淋した 三十路の熱海
曾孫が来て「パーバ遊ば」と さそわれる
持ってくるのは「JR東海(電車)」

磐田支部 鈴木さよ子

年と共に 大事なことを 忘れ果て
どうでもよいこと よく覚えてる
絵は賞めず 顔がよいねと 言われない
尤もなりし われの力は

浜松支部 原 哲

【俳句】

紅梅の つばみふくらむ 寺の庭
寒椿 鶯の庭に 頭下げ

沼津支部 山田寿男

一天の 碧さ広げて 百日紅
炮きたれど 身によし 愛し冷奴

山東支部 久保田かよ子

若水や 二礼二拍の 奥の院
冬曇 木曾三川の 薄明り

浜松東支部 大倉照二

発掘の 伽藍の礎石 雪時雨
蕉翁の 墓に初霜 薄化粧

西濃支部 高畑正良

陰を縫い 傘流れゆく 日の盛り
日盛に 耐えて半眼 野佛かな

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

夢ひとつ抱き 晚節の 趣味一途
人生の 起伏絆の 有難味

大府支部 藤井芳雄

下職の がまんの葉 染姿で効く
年寄りの 出巻仏の 盆かざり

美濃太田支部 三島次朗

引き算の 人生にある よい出合
引気ない 曾孫のヒントが 生きてくる

四日市支部 小川 勇

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。
花の便りが南から北へと駆け抜けるこの季節、各地方本部、支部とも定例会が計画され、その準備で役員の方々奮闘されていることと思います。
JRでは、ダイヤ改正も終わり、待望の「リニア鉄道館」がオープンしました。大変な賑わいと何っており
ます。皆様もぜひ一度お出かけください。

編集後記

1. 地本・支部だより

昨年秋の行業シーズン、各地方本部とも旅行や催し物の話題が豊富で、楽しく活動されている様子うかがえます。

SLに関する寄稿が2件ありました。SL等鉄道車両の清掃等に貢献している支部が他にも多々あり、ファンや地域住民から感謝されています。まさに国鉄OBの真骨頂発揮といった感じですね。

2. 読者のひろば

總川氏の日本百名山完登、おめでとございます。投稿のページの平岡氏も完登され、更に花の百名山にチャレンジ中とのこと。ご両人の「バイタリティ」に感心することきりです。

3. インストラクター

OB会活動のさらなる活性化を目指して一昨年が発足したこの

制度、私たちOB会会員の中から一芸に秀でた人や特技の持ち主等を募ったところ、実にさまざまな分野の「達人」に名乗り出てくださいました。今年の3月末現在、東海鉄道OB会全体で41支部96種目117人のインストラクターが登録されています。カラオケやグラウンドゴルフ等インストラクターが中心になって大々的に活動されている支部もありますが、登録はしたが活動はこれからというケースが大半です。活動するにあたってはいろいろな問題があるかと思いますが、みんなで智恵を出し合って楽しく活動できるようにしたいと思っています。なお、各支部に「インストラクターのプロフィール集」(全国版)を配布しておりますので参考にしてください(中川)

2011

気軽に参加できる

さわやかウォーキング

6/26日まで好評開催中
土・日・祝開催



参加費無料
予約不要
駅がスタート!



名古屋・飯田地区
47コース
6/19まで開催



静岡地区
35コース
6/26まで開催



長野県 軽井沢駅



静岡県 高井町 三内



静岡県 掛川市 掛川駅



岐阜県 岐阜市 岐阜駅



大分県 大分市 大分駅



山梨県 甲府市 甲府駅

さわやかウォーキングに、おトクなきっぷ

名古屋・静岡地区
青空フリーパス
お成 2,500円 成成 1,250円

静岡地区
休日乗り放題きっぷ
お成 2,600円 成成 1,300円



※写真は全てイメージです。

「さわやかウォーキング」の情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://jr-central.co.jp>

ウォーキングの詳細やきっぷご利用上の注意事項については、
JR東海の駅にある専用パンフレットをご覧ください。

ケータイでもコンテンツに
アクセスできます!



JR OB とうかい

Vol.25 2011年4月

発行/〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3丁目13-12キョスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/中川博行 TEL.052-562-6080(FAX兼用)



三世代で登山 半田支部 蛭川 正治

昨年5月娘、孫らと浅間山の黒斑山へ登りました。まだ残雪があり何べんも滑って転びましたが、みんな元気で本当に楽しい登山でした。これから健康に努め、子、孫たちと一緒にあちこちの山を登りたいと思っています。



待望の孫娘が生まれました

島田支部 松永 敏明

近所に住む一人息子の家に待望の孫娘が生まれ、これで孫長男(3年生)、孫二男(年長組)と今度の孫娘(8月7日生まれ)という構成になりました。この孫娘が20歳になる頃、私は88歳、妻は87歳になる助定です。まだまだ老化を嘆いてはいられません。孫娘の成長を見守る新しい目標が加わり「生まれてきてくれてありがとう」という感謝の気持ちでいっぱいです。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙写真	会報「JROBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあったもので、JR東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルデータでも結構です。お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジタルデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿ページ	会員及びご家族より親しくでもらおうと、「投稿ページの欄」を投げました。家族成りの方は友達と一緒に、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立てていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内になり、会報発行時の季節にあったものとします。応募の際、宛先に「短歌」「俳句」「川柳」と朱書きして下さい。
読者のひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真があれば添付けて下さい。	掲載要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了承下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-12 キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

インストラクター

郷土伝統芸能 「三島農兵節」を普及



三島支部
露木 久夫

私が国鉄に勤務していた戦中、戦後の荒廃時に職場単位の家族慰安会、余興等に郷土伝統芸能「三島ばやし」を披露し皆に楽しみを提供してきました。

その後、「三島ばやし」は県の無形文化財の指定を受け、現在郷土伝統芸能「三島農兵節」となっています。私は三味線、太鼓、鉦等の指導をするとともに、三島農兵節普及会会長もすでに10年余りとなり、いままで国内のお祭り広場、万博、全国植樹祭等地域のイベントに、またハワイの祭りにも会員120名をまとめ出演してきました。

例年、三島支部の秋季大会で「三島農兵節」を演じ、踊り



▲女性会員も入って農兵節を踊る

手を含め、特に女性会員が踊りの輪に加わるなど賑やかな大会となっています。これからも会員の親睦はもとより生きがいつくり尽力していきたいと思っています。

沿線歩記

高山本線 下呂駅

- 開業/昭和5年11月2日
- 所在地/岐阜県下呂市
幸田字下小瀬



高山本線は、東海道本線-岐阜駅と北陸本線-富山駅を結び、延長225kmの単線非電化路線。美濃太田からは飛騨川の流れをさかのぼり、宮トンネルを越えてからは宮川-神通川に沿って日本海へと下る。沿線は宮峠を分水嶺に、全線の8割が川沿いを走る。

名古屋から「ワイドビューひだ」で最速1時間30分、名古屋の奥座敷とも呼ばれる下呂へ。古くは下留(しものまり)と呼ばれていたが、音読されて「げろ」となり、時を経て「げろ」と転訛した。呂の字は温泉風呂が由来という。大らかな飛騨の自然が醸し出す四季折々の景観の素晴らしさはもちろん、豊富な観光資源と施設にも恵まれた歴史を感じさせる湯の街だ。ちなみに、下呂の北側には中呂、上呂という地名もある。

天下の名泉-下呂温泉への入口とあって、下呂駅のホームには温泉が湧き出ている。泉質は、無色透明のアルカリ

性単純温泉。湯にはほんのりとした香りがあり、あたりも柔らかくてとてもなめらか。美人の湯として知られるだけあって、肌がしっとりすべすべになり、リウマチや運動機能障害、神経症などに効能があるとのこと。

飛騨川の広い河原をはさんで、大型ホテルや旅館が建ち並び、温泉街の中心地は駅の対岸、下呂大橋を渡ったところ。狭い通りに土産物屋や飲食店が軒を連ね、落ち着いた雰囲気を持つ木造の宿や白鷺の湯といった昔ながらの共同浴場もあり、湯治場の風情が感じられる。せせらぎの小径の先にあるのは、野口雨情の像や歌碑などが整備された「湯のまち雨情公園」。雨情は下呂小唄を作った昭和の歌謡詩人で、街にはいくつかの歌碑が建つ。

駅探訪は、『JR東海の社内誌「おれんじ」12月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

細々と 夜を奏てる コオロギの
いとも淋しく 哀秋を告ぐ
人生は 夢と迷いと 現実を
大きなドラマと たどえても見る

梶田支部 鈴木さよ子

沖繩の 痛み分け合う 演習か

富士山麓に 砲声高し

吟道を 共に修めし 幽魂に

同志集いて 悼吟捧ぐ

瀬野支部 池谷秀夫

朝となり 今日二日の 無事祈る

門立つ吾に 初夏の微風

鈴なるか 遠き記憶が 近くなり

近き記憶が 遠くなる日々

陶都支部 伊藤博司

夕焼けの 歌い子等は 小走り

たも綱片手に 家路をいそぐ

友と逢い 共に助めし こどもを

今昔まじえ 尽きぬ想いを

四日市支部 小川 勇

妻の顔 韓国産の からい海苔

しわの深さも あいさようかな

にわか雨 紫陽花たたき うなだれて

それでも白き 花の顔

中津川支部 細江 勉

【俳句】

安土城 夢の燒跡 男郎花
べつたらの 遠き通る白 今朝の冬

東海東京地本 藤田 敏

生かされた 墓標見つめる 終戦日

ヘルメット 脱ぐや日灼けの 顔きびし

西濃支部 久世武治

お爺ちゃん 孫が呼んでる 敬老の日

八十路すぎ ほめてあげたい 敬老の日

津支部 奥村大喜男

老幹に 残れる力 梅の花

春浅し 燕を見送る 終列車

津支部 平岡登志雄

八十(金考)が 喜寿の妻連れ 墓参り

涙咲きの 彼岸花もら 墓参り

静岡支部 飯塚省三

捨ててから 要るど気付いた 錆びた釘

移り世を 斜めに覗む 左利き

岐阜工務局支部 弓折英二

新年は いな命を 膨らます

初もうで 今年も燕に 誘われて

伊勢支部 吉田国男

息を呑む レッドカードの タイミング

仲敷に 積んだ経験 物を言い

富土宮支部 渡辺定善

【川柳】

会員の皆様あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

新年号恒例となりました東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長山田佳臣様からの新年のお祝辞と東海鉄道OB会会長石原正孝からの挨拶及び鉄道OB会の法人会員である各社からの年賀状をお届けいたします。

編集後記

1. 会報のリニューアルから満1年

昨年1月号からリニューアルして早くも1年が経過いたしました。①誌名の変更②横書き③オールカラー化等によって、会員の皆様に親しんでいただけることを第一に考え、編集してまいりました。会報に対するご感想・意見・提案等お寄せください。さらなる向上を目指して頑張ります。

2. 生存者叙勲について

昨年秋の生存者叙勲受章された9名の方々おめでとうございます。OB会では、二類について支部からの推薦に基づきJRを介して上申していますが、近年多くの方が受章の栄に浴され喜んでおります。まだまだ、有資格者の方々が多くいらっしゃるので、推薦していただきたく思います。

3. 地本支部だより

各地方本部・支部とも、秋の行楽シーズンで旅行やレクリエーション活動が活発に行われ、会員相互の親睦を深めました。誌面

の都合で掲載できない部分もかなりありました。関係の地方本部・支部の方々には深くお詫ひいたします。

4. 読者のひろば

エッセイ等できるだけ多くの方のものを掲載したいため、申し訳ありませんが一編800字程度に纏めていただくことになっております。このため、長文のものは文の趣旨を変えないよう一部カットするなどさせていただいておりますのでよろしくお願ひします。

5. インストラクター紹介

インストラクターとして登録された会員は全国で700名弱です。連合会ではその数を1,500名に増やす取り組みをしています。わが東海鉄道OB会には、30支部で延べ90名の方が登録を受けています。未だ一人も登録されていない支部もあります。支部活動の活性化のためにも、ぜひ登録を受けられますようお願いいたします。(中川)

予約不要! 気軽に参加できる
さわやかウォーキング

新春ウォーク

1/8(土) ▶ 2/27(日) | 土・日・祝開催 |

参加費無料（お弁当別）・予約不要・駅がスタート!



名古屋地区10コース
2/26(土)開催

♪パワースポット巡り
ウォーク開催!!



静岡地区18コース
2/27(日)開催

♪2月23日「富士山の日」記念スタンプラリー開催!!
♪家さくら指の花めぐりスタンプラリー開催!!



さわやかウォーキングに、
おトクなきっぷ。

名古屋
静岡
地区

青空フリーパス

おとも 2,500円 こだも 1,250円

静岡
地区

休日乗り放題きっぷ

おとも 2,600円 こだも 1,300円



※写真イラストは全てイメージです。

「さわやかウォーキング」の情報はホームページでもご覧になれます。 <http://jr-central.co.jp>

ウォーキングの詳細やきっぷご利用上の注意事項については、
JR東海の駅にある専用パンフレットをご覧ください。

ケータイでも
カンタンに
アクセスできます!

